

平成25年度 第5次鯖江市総合計画推進にかかる施策方針

第5次鯖江市総合計画の着実な推進を目的として、平成25年4月に策定した施策方針の取組結果について、次のとおり報告します。

平成26年3月

総務部長 加藤 泰雄

1 総括

- 1 北陸新幹線事業については、中心線測量を着実に実施するため、機構や県、住民との間に立ち、関係調整を図りました。また、新幹線開業を見据えた魅力あるまちづくりを検討するため、「鯖江市の新幹線開業を見据えたまちづくり懇話会」を開催し、検討結果を市長に報告しました。
- 2 つつじバス運行事業については、鯖江南線と神明線のバス停追加や神明線のダイヤ変更を行い利用者の利便性向上を図りました。福井鉄道福武線については、沿線市や市民団体と連携し、乗る運動の展開やイベント時の啓発活動等により、利用促進活動に取り組みました。
- 3 人材育成基本方針の改定、絶対評価を基軸とする人事評価制度の運用などにより、能力、知識、技術等の向上を図り、市民から信頼される職員の育成に努めました。
- 4 複雑多様化する消費者トラブルに的確に対応するため、消費者生活相談員の資質向上に努め、市民が安心して相談できる体制を整えました。また、消費者被害防止のための啓発を行い、市民の安全安心の確保に努めました。
- 5 市民の自発的な取り組み・提案を支援しながら、市民主役事業の創造、地域コミュニティの活性化、市民による鯖江ブランドの推進に取り組み、市民自治力の向上を図りました。
- 6 男女共同参画社会に向けて、女性の社会参加や男性の意識改革の啓発、浸透に取り組みました。
- 7 交通安全教室やパトロール等を行い、交通安全の啓発に努め、交通事故ゼロを目指しました。
- 8 中河地区・吉川地区の2地区において地区協働型防災訓練を実施するとともに、自主防災組織の組織と人づくりを推進するため、防災リーダー養成講座や各町内での出前講座等を実施し、市民・地域・行政が一体となった災害に強いまちづくりに努めました。
- 9 鯖江市地域防災計画原子力災害対策編の策定および原子力防災ガイドブックを作成し、セミナーや出前講座等で、市民に対する原子力防災知識の普及・啓発を行いました。
- 10 地域の防犯活動を推進するため、隊員の増員による防犯体制の強化や、防犯隊と地域住民の協働による防犯パトロールを実施し、地域住民の防犯意識の向上と安全安心のまちづくりに努めました。

2 課題

- 1 北陸新幹線事業については、中心線測量がおおむね完了し、秋頃からは、沿線町内との設計協議が本格的に開始されます。地域住民の立場に立った対応をとるため、庁内に設置した北陸新幹線整備連絡会議で十分協議し、機構、県と住民との関係調整を図ることが重要になります。
また、新幹線開業を見据えたまちづくりについては、開業が10数年後であることから、懇話会での継続的な検討が求められており、開業時に当市の中核を担う若年層の意見を聴取することも必要になります。
- 2 福武線については、新車両導入効果で伸びた利用者数が一過性のものとならないよう、通勤・通学等の定期的な利用に繋げる工夫が必要になります。
- 3 「最大のサービス業」である市役所において、地域の課題に対し、市民とともに考え汗をかくのが市職員の努めです。さまざまな研修機会を通して、職員自らが問題意識を持ち、前例踏襲や事なかれ主義から脱却し、「市民から信頼される職員」として、すべての職員が活力を育くめる取り組みが必要となります。
- 4 仕事と家庭や地域のバランスのとれた生活を実現するため、ワークライフバランスの浸透に向けた取り組みがより必要となります。

3 重点的に進める項目の取組結果

＜取組項目＞	＜取組結果＞
<p>1. 北陸新幹線の着実な推進</p> <p>北陸新幹線整備については、事業が円満に進むよう事業主体である鉄道・運輸機構はもとより県に対しても、真摯に誠意ある対応を要請するとともに、今後、各地区から出される具体的な要望事項等に対しても、庁内に設置した北陸新幹線整備連絡会議の中で、住民の皆様の声が反映されるよう、機構や県と住民の皆様との関係を調整します。</p> <p>また、新幹線開業を見据えた本市のまちづくりについても、「鯖江市の新幹線開業を見据えたまちづくり懇話会」のなかで、様々な課題を洗い出し、それらを踏まえて今後の魅力ある鯖江のまちづくりについて検討していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 新幹線開業を見据えたまちづくり懇話会の開催 4回 ◆ 市民への広報紙等での情報提供 2回 	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>北陸新幹線整備については、概略設計の参考とするため、沿線住民の理解を得て中心線測量を実施し、市内の測量がおおむね完了しました。</p> <p>また、新幹線開業のまちづくりに向けて、「鯖江市の新幹線開業を見据えたまちづくり懇話会」を4回開催し、検討結果を報告書にまとめ、市長に提言しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 新幹線開業を見据えたまちづくり懇話会の開催 4回[A] ◆ 市民への広報紙等での情報提供 2回[A]
<p>2. 公共交通機関の利用促進</p> <p>「乗ろう、守ろう、みんなのつつじバス」を合言葉に、利用者アンケート調査や啓発活動を実施し、さらなる利便性の向上を図るとともに、福井鉄道や鯖江公共交通振興会と連携し、より一層の利用促進に努めます。</p> <p>また、福武線の利用促進を目指し、福井鉄道福武線利用促進鯖江市民会議と沿線市および沿線住民で構成する福井鉄道福武線サポート団体等協議会が連携・協働して利用促進の運動に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ つつじバス利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・年間利用者数 20万人 ・利用者に対するアンケート調査 2回 250人 ◆ 福武線利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・鯖江市内駅の利用者数 43万人 ・野外活動等支援事業の利用者数 9,400人 	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>つつじバスについては、利用者アンケート調査を実施し、次年度のダイヤ改正につなげました。また福井鉄道や鯖江公共交通振興会と連携した利用促進事業により利用者増加に努めました。</p> <p>福武線については、「福井鉄道福武線利用促進鯖江市民会議」と、沿線市3市の支援団体で構成する「福井鉄道福武線サポート団体等協議会」が連携・協働して、乗る運動の展開や、つつじまつり・もみじまつりでの啓発活動、広報紙の班回覧、まちなかハイキング事業の実施などの利用促進活動に取組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ つつじバス利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・年間利用者数 19.5万人[A] ・利用者に対するアンケート調査 2回 302人[A] ◆ 福武線利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・鯖江市内駅の利用者数 44万人[A] ・野外活動等支援事業の利用者数 9,000人[A]
<p>3-1. 市民から信頼される職員の育成</p> <p>多様な市民ニーズや複雑・高度化する行政課題に、積極的かつ的確に対応していくため、「人事管理」「組織運営」「職員研修」「職場環境」を人材育成の4つの取組みを基本柱として、市民とともに考え、未来を描き、熱意を持って改革・改善に取り組む『市民から信頼される職員』を育成します。</p> <p>また、職員一人ひとりが、来庁者に対する親切で丁寧な対応を行い、市民サービスの一層の向上を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 改定人事評価制度の浸透および効果的運用 <ul style="list-style-type: none"> ・目標設定能力向上のための研修実施 全職員各1回 ・設定した目標の調整会議開催 各部1回 ・評価者スキル向上のための研修実施 評価者各1回 ◆ 職場研修（OJT）の充実・強化 <ul style="list-style-type: none"> ・職場研修指導員研修の実施 1回 ・新採用職員の民間派遣研修の実施 1回 ◆ 職員の健康管理 <ul style="list-style-type: none"> ・産業医による職場点検・所属長面談の実施 8回 ・衛生委員会の開催 3回 ・1人あたりの超過勤務時間の抑制 	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>「人事管理」「組織運営」「職員研修」「職場環境」を人材育成の4つの取組みを基本柱として、人事評価制度、職場研修、職員の健康管理事業などに着実に取り組み、『市民から信頼される職員』を育成に努めました。</p> <p>また、職員一人ひとりが、来庁者に対する親切で丁寧な対応を行い、市民サービスの一層の向上を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 改定人事評価制度の浸透および効果的運用 <ul style="list-style-type: none"> ・目標設定能力向上のための研修実施 全職員各1回[A] ・設定した目標の調整会議開催 各部1回[A] ・評価者スキル向上のための研修実施 評価者各1回[A] ◆ 職場研修（OJT）の充実・強化 <ul style="list-style-type: none"> ・職場研修指導員研修の実施 1回[A] ・新採用職員の民間派遣研修の実施 1回[A] ◆ 職員の健康管理 <ul style="list-style-type: none"> ・産業医による職場点検・所属長面談の実施 10回[A] ・衛生委員会の開催 3回[A] ・1人あたりの超過勤務時間の抑制 (前年度に対して +3.7%) [C]

< 取組項目 >	< 取組結果 >
<p>3-2. 市役所窓口における接遇の向上</p> <p>来訪者に対する明るい笑顔と積極的なあいさつと声かけを行い、親近感と安心感を醸成するような市役所窓口を心掛けます。また、来庁された方へ職員対応アンケートを実施し、市民のご意見やご要望を把握し、市民の目線に立った窓口対応に努めます。</p> <p> { <ul style="list-style-type: none"> ◆ 来訪者アンケート 12回 600人 ◆ 来訪者満足度 85% } </p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>来訪者に対する明るい笑顔と積極的なあいさつと声かけを行い、来訪者一人一人に適した接遇を心がけ、ワンストップサービス向上に努めました。また、来庁された方へ職員対応アンケートを実施し、市民のご意見やご要望を把握し、市民の目線に立った窓口対応に努めました。</p> <p> { <ul style="list-style-type: none"> ◆ 来訪者アンケート 12回 600人[A] ◆ 来訪者満足度 86% [A] } </p>
<p>4. 消費者相談の機能強化</p> <p>多種多様な消費者トラブルに対応できるよう、研修およびセミナーに積極的に参加し、消費生活相談員のスキル向上を図ります。消費者被害の未然防止のため、市民が多く集まる誠市ややしきまつりなど各種イベント会場において啓発活動に取り組み、消費者意識の普及・向上に努めます。</p> <p> { <ul style="list-style-type: none"> ◆ 消費者生活相談員研修参加 30回 ◆ 消費者被害防止啓発 12回 } </p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>研修およびセミナーに積極的に参加し、複雑巧妙な手口の消費者トラブルに適切に対応できるよう消費生活相談員のスキル向上に努めました。また、消費者被害の未然防止のため、市民が多く集まるつつじまつり、ご縁市、ショッピングセンター、確定申告会場など各種イベント会場において啓発活動に取り組みました。</p> <p> { <ul style="list-style-type: none"> ◆ 消費者生活相談員研修参加 39回[A] ◆ 消費者被害防止啓発 12回[A] } </p>
<p>5. 市民主役のまちづくりの推進</p> <p>市民主役条例推進委員会や地区区長会・公民館等と連携しながら、地域住民の自治力の向上および市政への多様な市民参画の拡充を図ります。</p> <p> { <ul style="list-style-type: none"> ◆ 市民まちづくり応援団養成講座(全市・地区版)の開催 15回 300人 ◆ 提案型市民主役事業化制度への市民提案数 35件 ◆ まちづくり体験研修の実施 3地区 } </p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>市民主役条例推進委員会の企画に基づき、地区区長会・公民館等の協力を得ながら地域コミュニティにおける人材養成に取り組んだほか、市民提案に基づき市民主役事業の創出を行いました。</p> <p> { <ul style="list-style-type: none"> ◆ 市民まちづくり応援団養成講座(全市・地区版)の開催 20回 409人[A] ◆ 提案型市民主役事業化制度への市民提案数 37件[A] ◆ まちづくり体験研修の実施 3地区[A] } </p>
<p>6. 男女共同参画社会の実現</p> <p>女性の社会参加や男性の家事・育児参加意識の改革、ワーク・ライフ・バランスを市民とともに推進します。また、市の審議会等への女性の参画率の向上を図ります。</p> <p> { <ul style="list-style-type: none"> ◆ 市の審議会等への女性の参画率 33.5% ◆ ワーク・ライフ・バランスをはじめとする男女共同参画に関する学習会の実施 10回 500人 ◆ 女性人材リスト登録者数 70人 } </p>	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>男女共同参画推進の各種事業を開催し、男女共同参画の啓発に努め、市の審議会等への女性参画率の向上を図りました。</p> <p> { <ul style="list-style-type: none"> ◆ 市の審議会等への女性の参画率 32.1% [A] ◆ ワーク・ライフ・バランスをはじめとする男女共同参画に関する学習会の実施 10回 439人[B] ◆ 女性人材リスト登録者数 72人[A] } </p>
<p>7. 交通安全の推進</p> <p>子どもやお年寄りを交通事故から守るため、薄暮時パトロールや交通安全教室の充実に努め、交通安全への活動を積極的に推進します。</p> <p> { <ul style="list-style-type: none"> ◆ 交通指導員の充足 90% ◆ 交通安全教室の開催 165回 14,000人 ◆ 高齢者の免許証自主返納 75人 } </p>	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>幼小中および高齢者に交通安全教室を開催するとともに、パトロールを定例的に行い、交通安全活動の推進に取り組みました。</p> <p> { <ul style="list-style-type: none"> ◆ 交通指導員の充足 82.5% [B] ◆ 交通安全教室の開催 166回 13,135人[B] ◆ 高齢者の免許証自主返納 71人[B] } </p>

< 取組項目 > 	< 取組結果 >
<p>8-1. 自主防災組織の強化</p> <p>自分たちの地域は自分たちで守るという意識の醸成を図るため、防災リーダー養成講座や出前講座を実施するとともに、地域住民における防災訓練を実施することにより自主防災組織の強化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自主防災研修会 参加者数 250人 ◆ 防災リーダー養成講座等 養成数 40人 ◆ 出前講座 70回 ◆ 町内自主訓練 65町内 	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>災害時における地域の減災と防災力向上を図るため、防災リーダー養成講座や町内等での出前講座を実施するとともに、住民による町内防災訓練の指導等を実施することにより自主防災組織の強化を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自主防災研修会 参加者数 246人[A] ◆ 防災リーダー養成講座等 養成数 33人[B] ◆ 出前講座 68回[A] ◆ 町内自主訓練 72町内[A]
<p>8-2. 総合防災訓練の実施</p> <p>自然災害に対する注意の喚起および防災技術の向上を図るため、市民や防災機関との連携により防災総合訓練や水防訓練を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地区協働型防災訓練 【平成25年6月、8月予定】 2地区 ◆ 職員非常参集訓練 職員参加者 400人 ◆ 水防訓練【平成25年6月予定】 参加者 300人 ◆ 職員緊急情報伝達訓練【4回】 1時間以内返信率 80% 	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>地震や集中豪雨等による災害に備え、「地域住民による」「地域の実情を考慮した」総合防災訓練や、市民や防災機関との連携による水防訓練を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地区協働型防災訓練 【平成25年6月、8月実施】中河・吉川地区 2地区[A] ◆ 職員非常参集訓練 職員参加者 354人[B] ◆ 水防訓練【平成25年6月実施】 参加者 349人[A] ◆ 職員緊急情報伝達訓練【4回】 1時間以内返信率 79.5%[A]
<p>9. 地域防災計画(原子力災害対策編)の策定</p> <p>県の原子力防災計画策定後、原子力災害に対応する鯖江市地域防災計画(原子力災害対策編)を策定します。あわせて、市民に対する原子力防災知識の普及・啓発を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 原子力防災に関する自主防災組織等のセミナーの開催 2回 500人 (自主防災組織1回、防災リーダー等1回) 	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>原子力災害に対応する鯖江市地域防災計画(原子力災害対策編)の策定と、原子力防災ガイドブックを作成し、セミナーや出前講座等により市民に対する原子力防災知識の普及・啓発を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 原子力防災に関する自主防災組織等のセミナーの開催 6回 408人[B] (自主防災組織1回、町内出前講座等5回)
<p>10. 防犯隊の強化</p> <p>地域の防犯隊の積極的な活動を推進するため、防犯隊員の増員を図り、地域住民の防犯意識の高揚に努め、防犯体制の強化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 防犯隊の隊員数 127人 ◆ 防犯隊研修会 (地区別研修会10回、全体研修会 2回) 12回 	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>地域の防犯活動を推進するため、各区長等と連携し、防犯隊員の増員による防犯体制の強化や、地域住民の防犯意識の高揚を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 防犯隊の隊員数 122人[A] ◆ 防犯隊研修会 (地区別研修会10回、全体研修会 2回) 12回[A]